

出来る限り、以下の様式に沿った議事録を作成下さいますようお願いいたします。

(様式 2)

議事録番号

提出 2024 年 3 月 27 日

会合議事録

研究会名 : X 線スペクトロスコープ利用研究会

日 時 : 2024 年 3 月 27 日 13:30-16:00

場 所 : オンライン開催

出席者 : 大山順也 (熊本大), 朝倉博行 (近畿大), 片山真祥 (JASRI) 本間徹生 (JASRI), 加藤和男 (JASRI), 他

計 56 名

議題 :

1. 活動報告
2. X 線スペクトロスコープ関連ビームラインの現状と今後について
3. 全体ディスカッション

議事内容 :

1. 熊本大学 大山より、本年度の X 線スペクトロスコープ利用研究会の活動として、2 回の研究会開催、SPring-8 シンポジウム 2023 でのポスター発表、第 6 回 BLs アップグレード検討ワークショップの「SPring-8-II に向けた BLs-UG に関連する研究会からの要望」での発表が報告された。
2. X 線スペクトロスコープを用いた高度利用研究の推進を目的とし、本研究会に関連するビームラインサイエンティスト 6 名にビームラインの現状と再編・アップグレードの進捗と将来計画などについてご講演いただいた。
 - 『BL39XU のアップグレードの現状』河村直己氏 (JASRI)
 - 『硬 X 線顕微分光ビームライン BL37XU の現状』 関澤央輝氏 (JASRI)
 - 『BL36XU における時間分解分光計測の現状について』 東晃太郎 (JASRI)
 - 『軟 X 線光化学ビームライン BL27SU の現状』 菅大暉氏 (JASRI)
 - 『軟 X 線固体分光ビームライン BL25SU の現状』 山神光平 (JASRI)
 - 『XAFS ビームライン BL01B1・BL14B2 の現状と今後の予定』加藤和男氏 (JASRI)各ビームラインでのアップグレード計画、アップグレードや SPring-8-II に

よる測定エネルギー範囲・フラックスの変化、性能向上が見込める点、測定技術について、多数の質問があり活発に議論された。

3. 本研究会の本年度の利用者動向調査報告案を確認した。また、スペクトルデータベースについての取り組みと進捗についての情報を共有した。